

JAPAN BASKETBALL STANDARD 2021

ENERGIZING JAPAN WITH BASKETBALL





JBSとは・JBS2016振り返り



創りたい未来



JBS2021



最後に



JBSとは・JBS2016振り返り



創りたい未来



JBS2021



最後に



『Japan Basketball Standard』は2023年までの指針であり、
達成すべき目標（2030 GOAL）を掲げており、TOKYO2020は通過点



JBAは、2030年のJBA100周年をターゲットに、B.LEAGUE、W LEAGUE、都道府県協会、
各種連盟、パートナーなどバスケファミリーの皆様と共にこの目標を達成していきます。



JBS2016では男女日本代表の定着化、B.LEAGUE立ち上げ、都道府県協会のガバナンス強化を推進し、大きな成果を得ることができた

		成果
強く	強化育成	- 男子日本代表 WC・五輪出場/NBA選手輩出 - 海外NFと2カ国との協定締結 - 女子日本代表 銀メダル - 年代別育成方針・DC・エリート選手養成制度確立
	組織	- 都道府県協会の組織基盤の確立 - FIBA, FIBA ASIA, EABAにおける地位確立 - 各年代（カテゴリー）における競技環境の再構築 / Bクラブユース設立
	事業	- バスケットボール産業 300億円達成 - 日本代表戦集客力の大幅な構造（JAPAN MADNESS 2万人/試合 達成）
広く	普及	- 全都道府県でリーグ戦の立ち上げ - B.LEAGUE 入場者 大幅増 - 審判/指導者ライセンス保有者拡大 / プロ審判輩出
社会のために	社会貢献	- 全国でアリーナ構想 - B.LEAGUE Hopeの立ち上げ - 計画推進の活動活性化



JBSとは・JBS2016振り返り



創りたい未来



JBS2021



最後に



より多くのバスケットボールファミリーと共にベクトルを揃えて、
好循環のスパイラルを生み出すために、共に創りたい世界を明確化





**SMILE / STAR / DREAM / TEAM が溢れる未来。それが我々が目指す、
「バスケで日本を元気に！」**

SMILE

最も笑顔を生み出すスポーツNo.1

となり、バスケを通じて生まれた笑顔が日本に活力を与える世界

STAR

世界に通じる魅力を有するスター選手を10人以上

出し続け、日本中が世界へのチャレンジにワクワクする世界

DREAM

世界に誇る **「バスケで魅了する夢の都市」** が47都道府県に存在し、
人々・文化・経済が活性化された世界

TEAM

「憧れの業界No.1」 として、バスケに関わる人々が互いに
リスペクトし、イノベーションを生み、世界で活躍している世界

**バスケで
日本を
元気に！**

ENERGIZING JAPAN
WITH BASKETBALL



JBSとは・JBS2016振り返り



創りたい未来



JBS2021



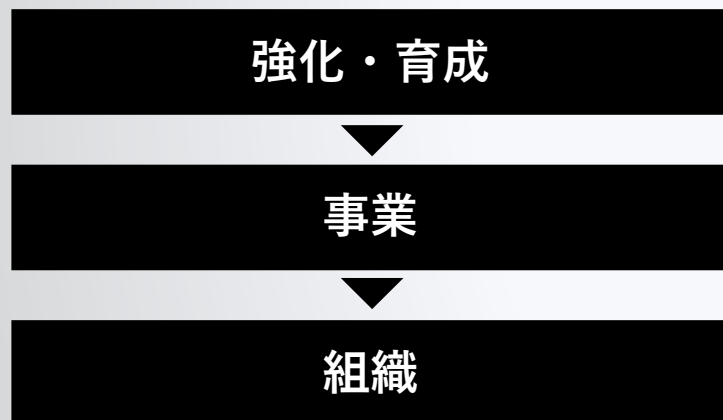
最後に



「強化・育成」「事業」「組織」を引き続き進化させ、「育成」「コンプライアンス」「With コロナ対応」に挑み、今の上昇機運を好循環スパイラルに昇華させる

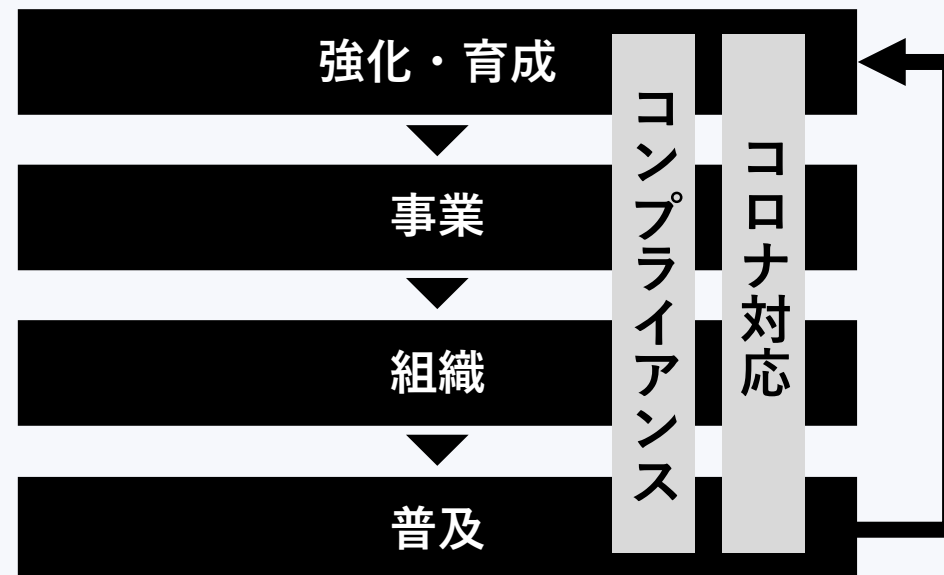
JBS2016

基盤づくり



JBS2021

好循環のスパイラルを生み出す



2023ワールドカップ、パリ五輪、さらにその先に向けて
「持続的かつ非連続な成長」の体制を盤石にする



- ・今のバスケット界の強み弱み / 外部環境を踏まえて、各領域の成長方針を定めた
- ・コンプライアンス / With コロナ対応はすべての方針を進める上で非常に重要

	内部環境		外部環境		成長方針
	活かすべき強み	克服すべき弱み	活かすべき強み	克服すべき弱み	
強化・育成	NBA/海外リーグ活躍選手の台頭		B.LEAGUE / スポーツくじ対象化		代表強化/ 育成の仕組みづくり
事業	2023W杯/2024パリ五輪 観るアリーナ文化拡大 競技者/ファンの女性比率	代表認知度の向上 代表戦/WCの視聴率向上 観る文化の醸成	動画配信サービスの成長 SDGs、ESG投資への注目度	オリンピックバブル の終焉	代表・主管大会の 価値向上
普及	60万人の登録者	部活動以外の競技環境 ダイバーシティへの対応		働き方改革 少子化 所得格差	競技環境の整備充実
組織	PBA経営安定化	DXの推進 人員確保	ガバナンス/コンプライアンス SDGs、ESG投資への注目度		組織基盤強化
コンプライアンス		暴力暴言等の根絶		SNS等による誹謗中傷	暴力暴言等の根絶
コロナ対応				先の見えないコロナ禍 コロナ不況	With コロナ対応



「代表強化」のみならず、選手育成やタレント発掘の「仕組み」で 着実にステップアップを進める

目標

男子：2023ワールドカップでのアジア1位（パリ五輪出場権獲得）
女子：五輪・ワールドカップでのメダル獲得
3x3：パリ五輪出場権獲得

代表強化

- ・ 国際連携による強豪国とのマッチメイキング
- ・ 日常を世界基準に（B.LEAGUE/W LEAGUE/大学）
- ・ 世代を超えたJapan's Wayの一気通貫・浸透（シューティングプロジェクト等）

選手育成

- ・ 育成センターの機能充実
- ・ 多様なパスウェイの整備・個々の質向上（ユース/海外/大学/飛び級等）
- ・ 指導の質向上（含むコンディショニング、体作り、バスケIQ等）

タレント発掘

- ・ 「タレント」をサイエンスする
- ・ 「将来を見据えた指導」浸透（＝脱勝利至上主義）
- ・ 海外・他競技等 幅広いスカウティング体制構築



五輪の熱を各種大会につなげ、国民的コンテンツの地位を獲得する

目標

「みたいスポーツ」「やりたいスポーツ」としての地位向上
2023 FIBAワールドカップの成功

プロモーション

- ・メディア連携の強化（キー局 / ローカル局）
- ・オウンドメディア強化（SNS・YouTube等）
- ・セグメントごとの訴求および事前事後イベント実施（点ではなく線・面で盛り上げる）

戦略的な エリア展開

- ・エリア戦略の立案・展開（ナショナルとローカルの両立）
- ・会場要件とイベント計画の策定
- ・行政・メディア・PBA・クラブとの連携強化

ステークホルダー 連携

- ・FIBA/トップリーグ連携
- ・各種大会の予選会等の日程整備（PBA/ブロック）
- ・競技委員会機能充実化



これまで以上に「普及」を本格展開

目標

『バスケをしたい/続けたい』と思った時に、
『すぐできる』『続けられる』環境づくり

リレーション 強化

- ・ 情報発信ツールの開発
- ・ 個人スタッツ、生涯スタッツ
- ・ 登録メリットの追求（e-learning・競技者向けサブスク 等）

環境・機会 整備

- ・ 場所の確保（情報提供）
- ・ 大会・イベント運営のパッケージ化、ノウハウ共有
- ・ 街中のゴール設置・「する」ための施設環境向上
- ・ リーグ戦文化の更なる推進

セグメント別 計画立案

- ・ 年代/競技レベル別で選択できる競技環境の構築（大会/イベント）
- ・ 審判、TO、指導者、等 支える人の機会・環境整備
- ・ スクールやサークル等、競技会以外のバスケ環境の充実、取り込み、3x3の活用
- ・ キッズ、初心者向け、プログラムの開発（My First Sports）



「普及」を進めるためにもクリーンバスケットボールは不可欠

目標

バスケットボール界から『暴力暴言等の根絶』

- ー 暴力暴言等により、バスケットボールから離れてしまうプレイヤーをなくす
- ー 審判 / TOその他、関係者への誹謗中傷から守る

リレーション 強化

- ・ 被害者へのケア / サポート体制の構築
- ・ 更生プログラム

環境・機会 整備

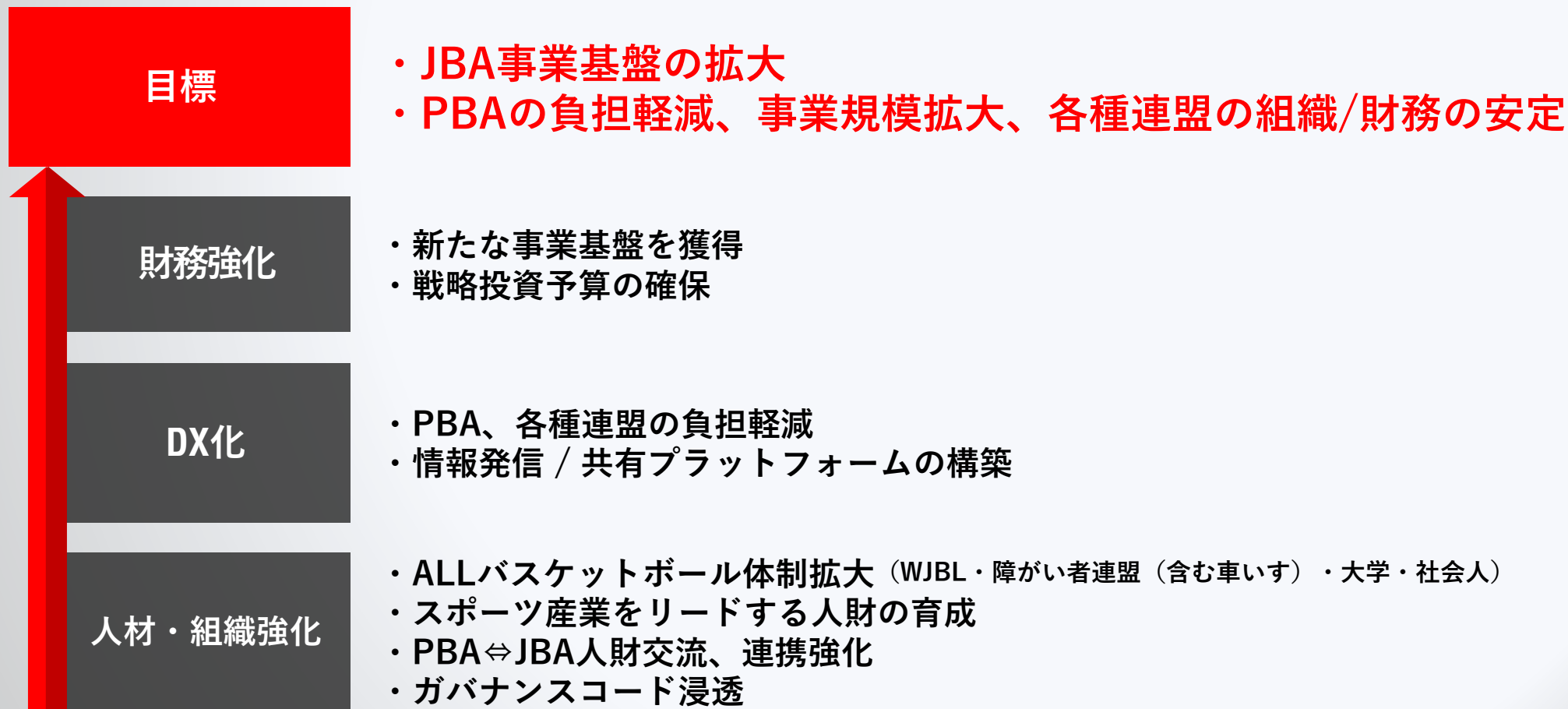
- ・ 通報窓口設置 / 運用
- ・ PBA裁定委員会との連携、サポート

セグメント別 計画立案

- ・ バスケットボールファミリー安心安全保護宣言
- ・ クリーンバスケット・クリーンザゲームの浸透
- ・ 懲罰事案の公表 / 懲罰の厳格化



JBAのみならずPBAの組織強化をサポートし、全国での活動を活性化させる





より一層の対応策を徹底し、選手 / 関係者の安心 / 安全を守る

目標

With コロナにおける『バスケットボール活動の維持・継続』

発生対応

- ・ 事業の中止/延期、棄権辞退等の判断
- ・ 陽性および濃厚接触者が誹謗中傷を受けることのないよう最大限配慮する
- ・ 迅速なかつ的確な対応で、クラスター化を防止（保健所等との連携）

感染対策

- ・ 大会要項 等の実施概要へのコロナ対策の反映および参加者への周知徹底
(コロナ対策責任者等の連絡フローの確立)
- ・ 参加者/関係者への事前健康チェックの徹底
- ・ 会場/施設使用におけるコロナ対策ルール of 徹底

リスク最小

- ・ コロナ対策ガイドラインの継続的なアップデートと情報発信
- ・ 官公庁/行政連携の強化



1

JBSとは・JBS2016振り返り

2

創りたい未来

3

JBS2021

4

最後に



JBS2021の目標達成のためには、JBAが強いリーダーシップを発揮し、ゴール達成に向けて加盟団体が邁進できる、連携できることが不可欠です。B.LEAGUE / W LEAGUE / 都道府県協会 / 各種連盟等、全てのバスケファミリーの皆様の活動をしっかりサポートしてまいります。





THANK YOU
THANK YOU